

2019 年度グッドデザイン賞において 001 系 Laview が 「グッドデザイン金賞」(経済産業大臣賞) を受賞！！ グッドデザイン・ベスト 100 に続き、受賞しました

西武鉄道株式会社(本社:埼玉県所沢市、社長:若林 久)では、2019年10月31日(金)、建築家・妹島和世氏がデザイン監修し、株式会社日立製作所(本社:東京都、執行役社長兼CEO:東原 敏昭)が製造した001系 Laviewが、このたび、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2019年度グッドデザイン賞において「グッドデザイン・ベスト100」に続き、「グッドデザイン金賞(経済産業大臣賞)」を受賞しました。

「グッドデザイン金賞」は、2019 年度に選出されたグッドデザイン賞受賞 1,420 件のうち、グッドデザイン・ベスト 100 に選出された受賞対象の中から、グッドデザイン審査委員会が特に優れたデザインと認められる作品に贈られる賞です。今回受賞した 001 系 Laview は、「いままでに見たことのない新しい車両」を目指し、西武鉄道の次世代のフラッグシップトレインとして製作された新型特急車両です。電車の固定概念にとらわれない、建築とプロダクトの間の、もうひとつの居住空間をイメージしてデザインされました。

当社はこれからも、さまざまなシーンにおいてお客さまにご満足いただける快適な車内空間と、お客さまの生活に笑顔と新しい感動を提供します。



都市や自然の中で特急が風景の一部となるようデザインされた Laview



■共同受賞企業

株式会社妹島和世建築設計事務所(主宰:妹島和世)

株式会社日立製作所(執行役社長兼CEO:東原 敏昭)

■審査員からの評価コメント

アヴァンギャルドな球形の先頭車両、風景がファジーに映りこみ存在感を和らげる車体塗装色、驚くほど大きな客室窓、窓からはリビングルームを彷彿させる心地よい暖色イエローのシートが良く見える、乗車前から乗客の心を昂ぶらせる仕掛けが満載だ。広大な窓から見える車窓風景はあたかも外界と室内空間がシームレスで繋がっているかの錯覚を起こさせ、普段見慣れた景色を新しいものへと変えるだろう。「100年の風景をつくる」という高い志のもと、デザインの力で革新的創造にチャレンジした姿勢とその実現力は賞賛に値する。

■001系 Laviewについて

<https://www.seiburailway.jp/railways/laview/>



お客さまを包み込みリラックスできるようにデザインされた座席
大きな窓から景色を取り込み外の風景もインテリアとなるようにデザインされた客室窓



前面ガラスに曲面ガラスを採用しやわらかな印象となるようデザインされた外観

■グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

■参考

- ・2019年10月2日付リリース

「001系 Laview『2019年度グッドデザイン・ベスト100』を受賞！！」

https://www.seiburailway.jp/news/news-release/2019/201901002gooddesign_best100.pdf

■お客さまのお問合せ先

西武鉄道株式会社 お客さまセンターTEL. (04)2996-2888

音声ガイダンスのご案内によりメニューをお選びください。

[営業時間：平日9時～19時 土休日9時～17時]

以 上